

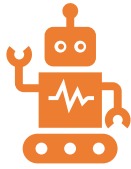




# DX を巡る現状と課題

## ●時代の流れ

AI、IoT、ビッグデータ等のデジタル技術の進化、少子高齢化・人口減少による働き手不足等の社会的変化、EC やサブスクリプション、シェアリングサービス等デジタル技術やサイバー空間等を活用した新しいビジネスの出現等による経済的变化、気候変動やパンデミックなどによる環境的变化に対応し、誰一人取り残されない安全・安心な未来の実現に向けた積極的取組が求められています。



技術的变化

AI、IoT、ビッグデータ等を  
中核とする技術革新



社会的変化

少子高齢化・人口減少、  
社会環境の変化への対応



経済的变化

産業構造や消費者行動、  
ビジネススタイルの変化



環境的变化

気候変動対策に向けた脱  
炭素化や自然環境保護

## ●デジタル推進施策の動向

近年の急速なデジタル技術の発展やパンデミックに備えて、社会全体として制度や組織のあり方を変革していくデジタル・トランスフォーメーション（DX）が求められています。

### (1) 国のデジタル関連施策

国においてはデジタル化を強力にリードする司令塔として発足したデジタル庁や、総務省を中心として、国や自治体が推進すべき方向性や施策を「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX) 推進計画」や「デジタル田園都市国家構想基本方針」などとして取りまとめています。

### (2) 沖縄県のデジタル推進施策

沖縄県においては新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画においては、沖縄 21 世紀ビジョンにおいて掲げる 5 つの将来像の実現に向け、安全・安心で幸福が実感できる島の形成を基本的指針としていることを踏まえ、【安全・安心で幸福が実感できる島】の形成にデジタル技術の面から貢献することをビジョンとした「沖縄県 DX 推進計画」が策定されました。

### (3) 竹富町のデジタル推進施策の推移と現状と課題

竹富町においては、これまで、竹富町の総合的な基本計画である竹富町総合計画のもと、これを更に推進させていく計画として策定された竹富町情報化計画（平成 29 年 1 月）等を中心にデジタル関連施策を推進してまいりました。

今後もデジタル技術の進化や、国や沖縄県の動きに関する情報を収集し、デジタル田園都市国家構想推進交付金をはじめとする補助や助成に向けた各種の支援施策等を有効的に活用することで、町の財政の負担を考慮し、何よりも町民に寄り添った効果的・効率的な DX を推進するため、町の現状と課題を踏まえ、本計画を策定します。

# DX 推進の方針

## ●基本姿勢

DX においては、単に新たな技術を導入するだけでなく、利用者目線に立ち、業務の効率化・改善による利便性向上や新たな価値を創造するといった、利用者視点の改革を行うことが目的となります。

これを踏まえ、本計画における DX 推進の基本姿勢を設定し国が示す方針を踏まえつつ、着実に推進します。

## ●ロードマップ

本計画の策定と推進に当たっては、総務省の「自治体 DX 推進手順書」等を踏まえ、着実に実行します。

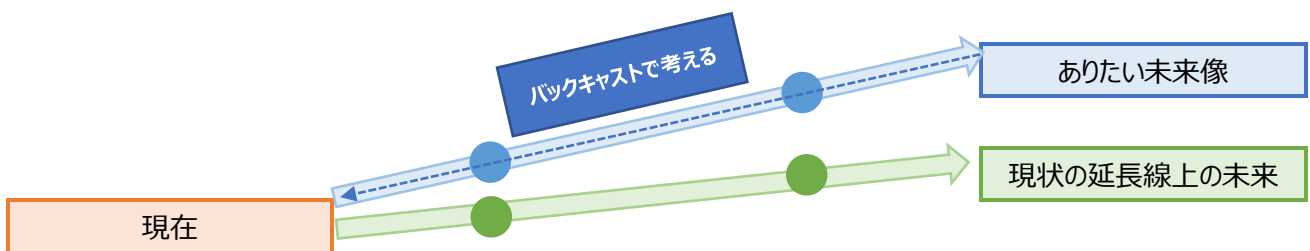
## ●施策展開の考え方

本計画では、以下の考え方を取り入れ、DX の効果的な推進を図ります。

### (1) バックカスティング

本計画においては、**ありたい未来**の実現方法を未来から逆算的に設計する「バックカスティング」の手法を活用し、本計画にて掲げる将来像を「ありたい未来像」として想定し、竹富町における課題の背景等を踏まえ、具体的な ICT/DX 関連施策の推進の基本方向を定めます。

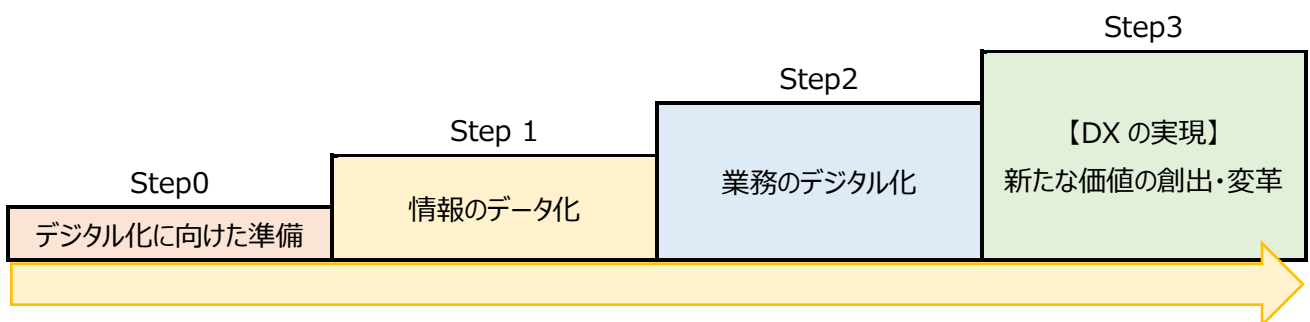
これにより、技術の変化などに伴い、生活やビジネスの環境が急速に変化し、現在の課題の意味さえ変わっていく時代の中、不確定要素の多い現状から考えるのではなく、ありたい未来の実現のための基本方向を考え続けることで、実現される未来が、達成度の低い「現状の延長線上の未来」になることを防ぎます。



### (2) DX へのステップ

本計画においては、「いきなり明日から DX」ではなく、「デジタル化に向けた準備」「情報のデータ化」「業務のデジタル化」をそれぞれの進捗に応じた取り組みをすすめ、着実に DX までステップアップすることを目指します。

本計画においては、「情報のデータ化」に至っていない施策は、DX の認知や理解を深めることから着手するなど、現状のステップに応じた取組を進め、将来的には DX にまでステップアップすることを目指します。



# 基本方向




## ●ビジョン




**町民・民間・行政** みんなが一体となって進める『わくわくする魅力あるまちづくり』

- ・子どもからお年寄りまで全ての町民が「**竹富町に住んでよかった**」と実感。
- ・町民同士、竹富町に関心をもってくださる方々との**つながりを確か**で豊かに。
- ・**それぞれの島**の自然・歴史・文化・ことばの**多様性を守り共存共栄**。

### DX 推進 3 本柱




 <p>暮らし 医療 福祉</p>	 <p>教育 歴史 文化</p>	 <p>産業 観光 交流</p>
<b>町民に寄り添う 暮らしDX</b> <p>生活におけるさまざまな場面にデジタルの恩恵を効果的に発現し、デジタル格差のない、町民幸福度を高める町民サービスの実現を目指します。</p>	<b>誰もが学べる 教育DX</b> <p>デジタルを効果的に活用し、子どもたちや大人、みんなの学びの後押しを図り行政・地域が一体となった誰もが能力を伸ばせる地域教育の形成を目指します。</p>	<b>様々な人が関わる 交流DX</b> <p>デジタルを効果的に活用し、町の特性や魅力を多岐に発信することで、世界各地の人々との関わりを増やし、みんなから親しまれ、注目されるまちづくりを目指します。</p>

### DX 推進を支える土台




 <p>インフラ 防災 行政</p>	<b>特色のある町を支える 地域特性DX</b> <p>島嶼で形成される特色のある竹富町に適したデジタルインフラ整備や行政デジタル化の推進により、最適な環境を構築します。</p>
---	---

# 未来像と具体的な取り組み

## ●暮らし DX（暮らし・医療・福祉）




未来像	具体的な取り組み内容
 <p>役場との距離が近くなる</p>	<p><b>施策Ⅰ-1 スマホの中にも町役場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① いつでもどこでも手続きができる「スマホの中に町役場」</li> <li>② 公民館や郵便局などで手続きができる「地域の中に町役場」</li> <li>③ マイナンバーカードで安全かつ便利になる行政サービス</li> </ul>
 <p>誰一人取り残されない町</p>	<p><b>施策Ⅰ-2 誰一人取り残されない行政サービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 町民がデジタルを活用しなくても格差の無いサービス</li> <li>② 竹富町の DX 推進を支える地域 DX サポーターの育成</li> <li>③ 手書きの申請等でもデジタル申請と変わらない公平なサービス</li> </ul>
 <p>ずっと健康で生き生き</p>	<p><b>施策Ⅰ-3 誰でもどこでも健やかな暮らし</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 子どもから高齢者まで町民の安全・安心な暮らしを支える</li> <li>② 地域に医療施設がなくても健康を維持できる医療環境の改善</li> <li>③ 介護・福祉サービスの均一化の促進</li> </ul>

## ●教育 DX（教育・歴史・文化）




未来像	具体的な取り組み内容
 <p>子どもの教育活性化</p>	<p><b>施策Ⅱ-1 子ども一人ひとりに応じた教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① すべての子どもたちが能力を伸ばせる地域教育や国際交流</li> <li>② 子どもたちの居場所や学ぶ環境づくり</li> <li>③ 教職員のデジタルを活用した教育スキルの更なる向上</li> </ul>
 <p>大人の学習活性化</p>	<p><b>施策Ⅱ-2 大人の学びなおし</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 社会人に向けた学びなおし（リスキリング）の機会創出</li> <li>② 新しい働き方に向けた機会創出</li> <li>③ 時代に求められるデジタル人材の育成</li> </ul>
 <p>みんなの学びが活性化</p>	<p><b>施策Ⅱ-3 みんなで生涯学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 竹富町の島同士の様々な生涯学習や文化交流機会の創出</li> <li>② 竹富町の様々な自然や地域の歴史・文化の継承</li> <li>③ デジタル活用スキルを学ぶ機会の創出</li> </ul>



●交流 DX（産業・観光・交流）

未来像	具体的な取り組み内容
 <p>豊かな竹富町</p>	<p><b>施策Ⅲ-1 町の「稼ぐ力」を強くする</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「稼ぐ力」を身につける全ての産業 DX 支援</li> <li>② 産業デジタル人材育成を支援</li> <li>③ 産業 DX に必要となる資金調達に向けた支援</li> </ol>
 <p>竹富町ファンが世界中に</p>	<p><b>施策Ⅲ-2 町と世界を繋ぐ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 町民と来訪者が共に自然環境や生活環境の調和を保つ交流</li> <li>② 竹富町各島の特性や魅力を世界へ発信</li> <li>③ デジタル技術を用いた情報発信や竹富町ファンと地域との交流</li> </ol>
 <p>地域・世界と繋がる竹富町</p>	<p><b>施策Ⅲ-3 町に人を招く</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 町民同士や町民と町外の人との交流機会の創出</li> <li>② 地域と産業のデジタル交流機会の創出</li> <li>③ 来てみたい、暮らしてみたい、住んでみたいと感じる情報提供</li> </ol>

●地域特性 DX（インフラ・防災・行政）

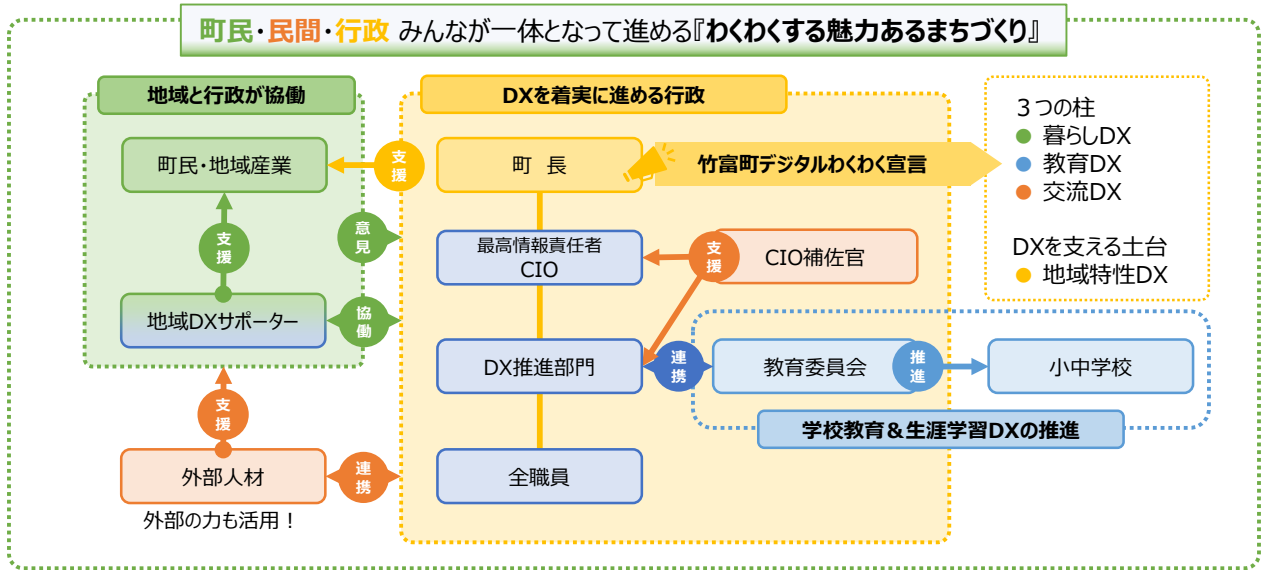
未来像	具体的な取り組み内容
 <p>いつでも・どこでもつながる</p>	<p><b>施策Ⅳ-1 竹富町ネットワーキング</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① インターネット接続環境などの整備や利活用への支援を推進</li> <li>② 公民館などを活用した町民と役場の新しい交流機会の創出</li> <li>③ デジタルの恩恵をいつでも・どこでも受けられる環境の実現</li> </ol>
 <p>どこでも安全・安心</p>	<p><b>施策Ⅳ-2 いつでも・どこでも安全・安心</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① いつでも・どこでも町民の安全・安心を守る</li> <li>② 災害情報の周知や災害対策、防災・減災で町民を守る</li> <li>③ デジタル社会が生み出した新たな犯罪から町民を守る</li> </ol>
 <p>町民が誇りに思う行政</p>	<p><b>施策Ⅳ-3 行政業務の変革</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 町民の声を踏まえた町政運営と徹底した個人情報の保護</li> <li>② 業務の抜本的見直しによる効率化・高度化</li> <li>③ 町民一人ひとりに寄り添い、開かれた情報提供</li> </ol>

# 計画の推進

本計画を推進するためには、住民制度、健康、福祉、子育て、産業振興等、全ての部門が主体的にデジタル技術の利活用に取り組みながら、政策、情報等の管理部門と連携・協力し、町民のみならず「竹富町に住んで良かった」と感じられる社会『デジタルでわくわくする竹富町』の実現を目指す必要があります。

そのためには限られた予算の中、組織の壁を越えて、全体最適化の見地から効果的な推進体制を構築することが不可欠です。本計画の実現に向け、全庁的・横断的な DX 推進に向けた組織体制を整備します。

## ●体制図



## ●推進体制

### ① 最高情報統括責任者及び竹富町DX推進本部の設置

副町長を最高情報統括責任者（CIO：Chief Information Officer）とした「竹富町DX推進本部」を設置し、必要な各種取組を加速、推進させていきます。

### ② 外部人材・外部組織の活用

DX を推進するには専門的知見を有することから、専門的な知識を有する CIO 補佐官の任用やその他外部人材、外部組織を活用します。

### ③ DX 推進リーダーの配置

各課が DX 推進部門任せにせず、主体的に取り組めるよう各課に DX 推進リーダーを配置し、任命された職員は本計画の基本方針を留意しながら、各課の中心的役割を担って取り組みます。また、DX 推進リーダーには、必要となる専門知識に係る研修等の機会を提供し、部署や担当業務を超えた取り組みを推進します。

### ④ 全職員による主体的な推進体制の構築

DX 推進リーダーを含む全ての職員に対し、情報漏洩の防止や管理に向けた情報セキュリティ対策を中心としたデジタル活用の研修等の機会を提供し、全職員が主体性をもって DX を推進します。